

みんなでつくる「いのち」の祭典2007ふくしま

- 人権シンポジウム開催のご案内 -

主催 財団法人 人権教育啓発推進センター

参加費
無 料

「みんなでつくる「いのち」の祭典 2007 ふくしま」(平成19年度人権啓発フェスティバル福島会場 10月7日(日) 8日(月・祝)開催)で、「人権シンポジウム」を開催いたします。

今回は、いじめ問題などを含めた“子どもの人権”について、各方面で活躍されている方々を登壇者に迎え、それぞれの立場からの基調報告とパネルディスカッションを予定しています。

また、ご来場の皆様から各登壇者へのご質問にお答えする時間もございます。人権への理解を深めたい方など、関心のある皆様のご参加をお待ちしております。

*テーマ

「人権の世紀」の実現に向けて みんなではぐくむ人権文化
～子どもたちとともにつくる輝く未来～

*日時

2007(平成19)年10月7日(日)13:30 ~ 16:30
(12:45より受付開始)

*会場

ピッグパレットふくしま 3階 中会議室
(福島県郡山市安積町日出山字北千保19-8)



コーディネーター：・田中 正人

財団法人人権教育啓発推進センター理事、元読売新聞社編集局次長

パネリスト

：・鹿嶋 真弓

東京都足立区立蒲原中学校教諭

・小森 美登里

NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事

・滝田 三良

全国人権擁護委員連合会長、弁護士

・宮岸 侑加

長野県教育委員会人権教育派遣講師、精神保健福祉士

参加費用 無料

手話通訳・パソコン要約筆記あり

敬称略

パネリストのプロフィール

- ・鹿嶋 真弓：「エンカウンター」という生徒同士の関係作りを促す授業を実践し、いじめや学級崩壊のないクラス作りを進める、今、教育現場で注目を集めている公立中学教師。エンカウンターはアメリカで開発され、鹿嶋氏はそれを現場で実践した先駆者の一人。さまざまなエンカウンターのプログラムを駆使し、クラスをまとめていく。絆の生まれたクラスは、いじめが起こりにくく、成績も向上するといわれる。NHK「プロフェッショナル～仕事の流儀～」でも紹介された。
- ・小森 美登里：平成10年、高校入学間もない一人娘をいじめによる自殺で亡くす。娘さんの「優しい心が一番大切だよ」というメッセージを社会に伝えていくと、夫とともにNPO法人を立ち上げ、いじめや暴力のない社会づくりのために活動を展開。いじめや暴力で亡くなった子どもたちの写真やメッセージの展示、学習会、講演活動などを行っている。
- ・滝田 三良：郡山市で弁護士事務所を開設。昭和56年、人権擁護委員に任命されて以来、人権侵害に関する相談や市民の意識高揚に向けた啓発に取り組んできた。「人権侵害を受けた市民を救済すること、裁判制度を利用できずにいる弱い立場の人に光をあてたい」と、全国連合会長として、全国各地で人権の大切さを訴えている。
- ・宮岸 侑加：小中学校時代に数々の陰湿ないじめを受け、恐怖心から登校できなくなる。偶然、福祉関係の男性と知り合い、ボランティア活動に自分の居場所を見いだす。高校時代には仲間とボランティア団体を結成し養護学校や子供会でのイベントを企画、運営。大学では福祉を学ぶとともに自分の経験を生かし、不登校の子どもたちの支援を行う。現在も不登校の子どもたちとの交流や学校での講演活動をしている。

お問い合わせ 福島県庁人権男女共生グループ 電話024-521-7188